



パティオの顔になるロジヤとゲートについて解説を加えたいと思います。ロジヤは玄関までの通路になっているのですが、それ以上に重要な存在です。R壁を背にしてパティオを眺めた時にそこは南になります。風や光を最も感じながら且つ、ゆったりとパティオを楽しむ事が出来る場所なのです。R壁はロジヤの部分で大きく半月上に切り取られています。向こうにあるのはRC壁です。ふたつの素材の違う壁により奥行き感を演出します。また西からの光も壁の間から差し込んできます。DK側のパティオからの眺めに深みを与えてくれるはずですが。読書を楽しんで頂きたいと思うのです。R壁に開口を作ることによって風の抜け道を作ります。空気の移動を演出します。

ゲートはこの計画にあって不可欠です。「園」への導き。ゲートを潜る事によって外と内とを隔てる「精神的な意味合い」を感じて欲しいと思います。ここで注釈を加えておきます。ゲートのパースの右側部分にはアイアンの柵が描かれていますが、どうしても外部からのプライバシーを気にされるのであればRC壁を立ち上げるしかないと思います。しかし作画には入れませんでした。植栽などの「生垣」として、少しでもパティオに命を吹き込んで欲しいとも考えるのです。



「パティオの家」

**URBAN GEAR**

<http://urbangear.design.com>

[atelier@urbangear.design.com](mailto:atelier@urbangear.design.com)